



とづかみほ 戸塚美穂議員



まちづくり座談会開催（佐比内公民館）

政策立案から市民参加を

答 町民目線で取り組む

市民参加条例

問 政策形成過程において町民の意見を反映し、合意形成が適切に行われてきたか。

町長 条例制定後、延べ81の基本構想や基本計画の策定、見直しなど市民参加の手續きを実施し、適切な合意形成に努めてきた。

問 計画策定など、素案を策定する段階から町民の意見を政策に反映させるべきでは

企画課 素案を策定する時点から町民が参画する必要もあるが、議論を進めるには素案が必要になることもある。場合に依りて、町民目線で取り組みを進めたい。

問 町民の意見に基づく町政運営と、町民主体のまちづくりをするべきではないか。

町長 市民参加の方法は様々あり、町民に開かれた窓口でありたい。

ごみ処理 広域化計画

町民と意識共有を図れ

答 進捗状況に応じ周知

問 進捗状況や課題を町民に周知し、情報共有を図るべきではないか。

町長 事業の進捗状況に応じ、広報・ホームページなどで周知していく。

問 広域化になると、ごみ減量化の意識が薄れてくるのではないかと。町の取り組みは

町長 ごみを処理して頂くという町民の共通意識が、ごみ減量化にも繋がると思う。広報などにより理解を求めていく。

町長 県央ブロックごみ・処理広域化基本構想についての勉強会などは考えられないか。

町長 意識共有は必要である。機会を捉え関係団体、行政区長に申し付けていきたい。



盛岡・紫波地区環境施設組合 清掃センター

財政

ふるさと納税を推進せよ

答 新たな返礼品を開拓

問 消費税10パーセントの導入で町の予算に影響はないか。

町長 一時的な影響はあるが大幅な落ち込みは回避されると考えている。しかし、税収の伸びは見込めないため経営資源を最適に活用していく。

を行い、新たな返礼品の開拓に取り組む。また、体験型の返礼品で町への来訪者の増加を図る。

町長 個人は希望する分野に、企業版ふるさと納税では「カナダホストタウン交流事業」と「スポーツ合宿誘致推進事業」がある。

問 寄付者が使い道を指定できるか。

町長 ふるさと納税額を増やす取り組みは、町の魅力が伝わるよう効果的な広報



紫波を味わう返礼品の数々

待機児童の対策は

答 民間保育所の開所を支援

子育て支援

問 幼稚園、保育所等の無償化で待機児童数は

町長 3歳児の待機児童は2人いる。急増する3歳未満児の対応

として、複数の民間保育所の開所支援を進めている。

問 児童館の利用と有効活用は

町長 農村部は児童館を利用する児童数が減少しているため、保育施設の編成により児童館の一部に保育機能を移行し、対応する準備を進めている。



今日は交通安全教室です（彦部児童館）

問 学童保育・放課後児童クラブの利用が増が見込まれるが、対応は

町長 赤石地区は定員115人の施設が開所を目指している。東部、西部地区は学校再編により地域にあった施設の在り方を検討する。

する3歳未満児の対応